

2018年05月18日

【格付変更/維持】

京都銀行

発行体格付： A + → A [格付の方向性：安定的]
 短期債務： a - 1 (維持)

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

京都府で比較的高い市場地位にある地域銀行。収益力は低く、規模拡大路線で開拓してきた顧客基盤の早期収益化が課題になっている。2017年5月に発行体格付を維持したものの、方向性をネガティブにして取り組みを見守ってきた。

貸出金の増加率は高い水準を維持しているが、適用利率は低く、利回りはもう少し低下する見通し。非金利収益の増加額は利息収入の減少を補って業務粗利益を伸ばすにはやや物足りない。顧客基盤の拡充を優先して店舗・人員を増やしているため、経費の削減も見込みにくい。これらを踏まえ、収益力の改善には時間を要すると判断し、発行体格付をA+からAへ変更した。格付の方向性は安定的。

「広域型地方銀行」を標榜し、近畿圏を中心に積極的に出店している。貸し出しが伸びる一方で、貸出金利回りは地域銀行の中でも低く、開拓した顧客基盤の収益化を進める必要がある。

顧客基盤の収益化には非金利収益の強化が欠かせない。2018年3月期から開始した中期経営計画ではコンサルティング機能の発揮を掲げる。M&A(合併・買収)など法人役務収益は少しずつ増加している。また、証券子会社の京銀証券をはじめとしたグループ会社の機能を生かし、ワンストップによる総合金融サービス提供に取り組んでいる。収益を底上げするのは容易ではないとみているが、その進捗を見守る。

リスク耐久力はAゾーンに見合う。価格変動リスクを中心に市場リスクは大きいものの、政策保有株式の潤沢な含み益を勘案すれば、リスク耐久力は維持されている。保守的な与信業務運営を反映して、貸出金を伸ばす中でも信用リスクは抑制されている。

【格付対象】

発行者：京都銀行(証券コード：8369)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A+ → A	安定的
名称	格付	
短期債務	a-1 (維持)	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	奥村 信之
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年05月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2015.05.01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017.03.07] 預金取扱金融機関 [2015.12.21]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	京都銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報	決算書類、開示情報
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。